



真言宗智山派新内局来山

四月十九日、京都・総本山智積院より、真言宗智山派の内局に新しく就任された芙蓉良英宗務総長をはじめとし、馬場修任総務部長、高麗行真教学部長、笹沼弘憲教化部長、三神栄法法律務部長、久保田剛士財務部長、近藤昌俊宗務出張所長が、新緑の高尾山に来山されました。御一行は山内僧侶・職員の出迎えを受け、書院において大山御貫首と就任の挨拶を交わされ、暫し歓談の後に、下山されました。

高尾山来山者安全祈願祭

四月九日(土)



飯縄権現通拝社御宝前にて登山者の安全を祈願する



八王子車人形西川古柳座の皆様による祝いの舞「三番叟」

四月九日(土)、高尾山若葉まつり開催式が行われました。五月二十九日(日)まで、土日・祝日を中心に様々な催し事が行われます。山伏を先頭に山麓の不動院まで、伊勢丹立川支店の皆様や、高尾山商店街の関係者が満開となった桜の下を練り歩き、飯縄権現通拝社御宝前にて、大山貫首御導師の下、来山者安全祈願祭が執り行われました。その後、ケーブルカー・清滝駅前にて、八王子車人形の西川古柳座による公演が行われ、人形と一体となる、巧みな人形さばきを披露されました。

花祭り(釈尊降誕会)

四月三日(日) 八日(金)



各地から集まった大勢のボーイスカウトの皆様がお釈迦様の生誕を祝い、誕生仏に甘茶を灌ぐ

四月三日(日)と八日(金)に、お釈迦様の生誕を祝福する「花まつり」が行われました。高尾山の有喜苑には、昭和六年(一九三一)タイ王国より日本ボーイスカウト連盟が「健児の仏舍利」として拝受した、お釈迦様の真身骨を安置した仏舍利塔があります。その御縁から、毎年四月第一日曜日には、各地よりボーイスカウト会員が集い、花まつりが行われます。本年は三日にボーイスカウトによる花まつりが、お釈迦様の誕生日とされる八日には、山内僧侶により法要が厳修され、花で飾られた「花御堂」の中に立つお釈迦様の誕生仏に甘茶が灌がれました。

穏やかな微笑み

シキリン歌手 友納あけみ

桜の花が散っていきました。この季節、この国に生まれたこと、この風土を与えられたこと、この大地に立てること...そのすべてを本当に有難く思えます。五年前の震災の時、大地に倒れた大きな桜の木が胸が張り裂けるように私の心に迫ってきました。そして改めて、桜の花の咲く、この国が私のかげがない故郷なのだと気が付き、傷ついた大地が愛おしくてたまらなく、涙が止まりませんでした。無残なテロが起ころたに思います。誰もが愛する人達と共に、命を与えられた大地で、その風土に生まれ、その自然の恵みの中で花鳥を愛で暮らせたなら、きつとあんなようなことはしないと...始まりはきつとほんの小



そして同じように、私達の国でも、ほんの少し前には、この桜を、この国を、この風土を守りたい...と願い、戦争で死んでいった多くの先人の方達がいち早くも思い、愚かな殺し合いが本当に早くなくなることを祈らず

さな欲や行き違いだったはず...それが、こんなに大きな悪循環を作り出し、憎しみが連鎖しながら渦巻いて行く...哀しいことです。

にはいられません。五年前の震災は、この宝物はいとも簡単に取り上げられてしまうのだということを思い知らせてくれました。こんなにも弱い私達人間同士が争って自然を壊し、長い人の営みを断ち切り破壊し、本当に愚かしいことですよ。山梨には樹齢千八百年の桜が咲いているそうです...こんな私たち人間を、桜はどんな思いで見守り、咲いてくれるのでしょうか...桜を見上げると知らず知らずに誰もが、穏やかな微笑みを浮かべてしまっています。桜の花が心を浄化して行っていくの、かもしれませんね...
コンサートのお知らせ
6月16日(木)
友納あけみコンサート
第二十三章「再会」
会場 渋谷・さくらホール
時間 開演18時半 開演19時
お問合せ先
Tel.03-353329507